

2018/09/03 (月) 巢栗溪谷⇄美ヶ原 (武石・焼山沢コース)

参加メンバー：福田・TU

朝、鈍より曇っていて怪しげな天気不安になる。天気予報は曇り時々晴れの30%だったのに。いつもの如く登山口付近で少しウロウロしたが、何とか無事到着。

3台くらい停められるスペースにどうやら我々のみ。平日だからね。

うっそうとした原生林の登山道を川沿いに登って行く。苔むした岩肌は北八ヶ岳の苔の森を思わせる。ビロードのような苔がとっても美しく、苔女なら大喜びしそうな風景である。

だが歩くのは別の話。登山道は終始湿っていて、ぬるぬる滑り、滑らない様に慎重に足を運ぶが、時々ズルッと転びそうになる。

トガの親木は帰りに見ることにし、焼山の滝へ。雄滝と雌滝があり、雄滝はゴーゴーとかなりの落差と水量があり迫力満点。マイナスイオン4万位？に癒され先を急ぐ。まもなくヒカリゴケのある岩穴に到達。3ヶ所くらいの岩穴の中にヒカリゴケが怪しく光っていた。

川を渡り暫く行くと水石と書いた看板があり、洞穴状の岩が水をたたえている。湧水なのか？薄暗かった原生林がだんだん明るくなり、青空が見えてきた。美ヶ原はもうそこだ。

原生林を抜けると広々とした草原と青空が一気に目に飛び込んできた。

柵で囲まれた草原の向こうに草をはむ牛が点在している。牧歌的なのんびりした風景が広がった。月曜日ということもあり、草原に人影は少なく、牛の数の方が圧倒的に多い。

「塩くれ場」に設置されたベンチとテーブルでゆっくり昼食を摂る。夏のなごりを惜しみながら、風はすでに秋風の冷たさ。ゆったりとした時間の中でのんびり時間が過ぎていく。電波塔が建つ王が頭まで往復。牛を眺めながら歩いていると眠気を誘うようなけだるい雰囲気・・・。子牛は人間に興味があるらしく柵から顔を出してお相手欲しい様子。成牛は草を食べることに夢中で人間は眼中に無し。帰る頃には寝そべっている牛が増え、お昼寝タイム？

朝と打って変わって真っ青な空！「晴れ女だねえ～」と二人で自画自賛。

二度目のティータイム。つついおしゃべりが長くなり、急いで下山を始める。滑る岩、木の根っこに足を取られながらひたすら原生林を下る。トガの親木は時間切れで断念。

結局、この巢栗溪谷の焼山コースはわれわれ2人のみであった。

あまりのゆったりした時間を過ごし過ぎ、下山時刻は計画を大幅に超過となってしまった。

【コースタイム】

茅野市運動公園駐車場 6:00

武石焼山沢登山口 7:40～焼山滝～ 水石～11:30 塩くれ場 大休憩 12:00～

王ヶ頭 12:30～13:20 塩くれ場 小休憩～13:40 下山開始～15:50 武石焼山沢登山口



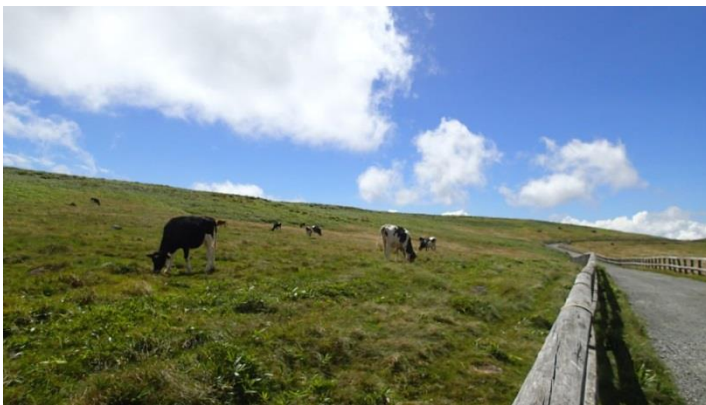
苔むした河原



焼山滝 (左・雄滝／右・雌滝)



王ヶ頭 北アルプスは雲の中



美ヶ原



マツムシソウ
秋だね！